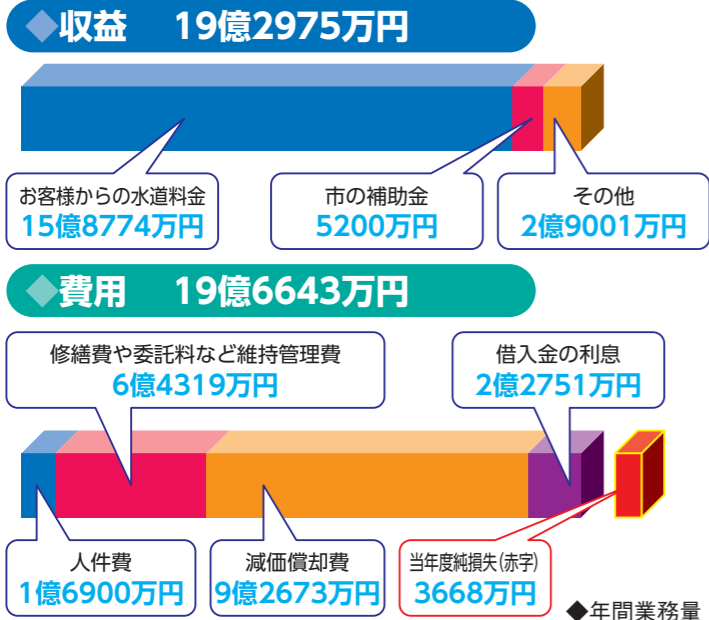


## 令和元年度 水道事業会計決算の状況

### 1. 収益的収支決算額（税抜）

⇒ 水道水をつくるためにかけたお金とその財源



#### 経営状況

令和元年度の収益的収支は、総収益が19億2,975万円、総費用は19億6,643万円で、3,668万円の当年度純損失(赤字)となりました。

### 2. 資本的収支決算額（税込）

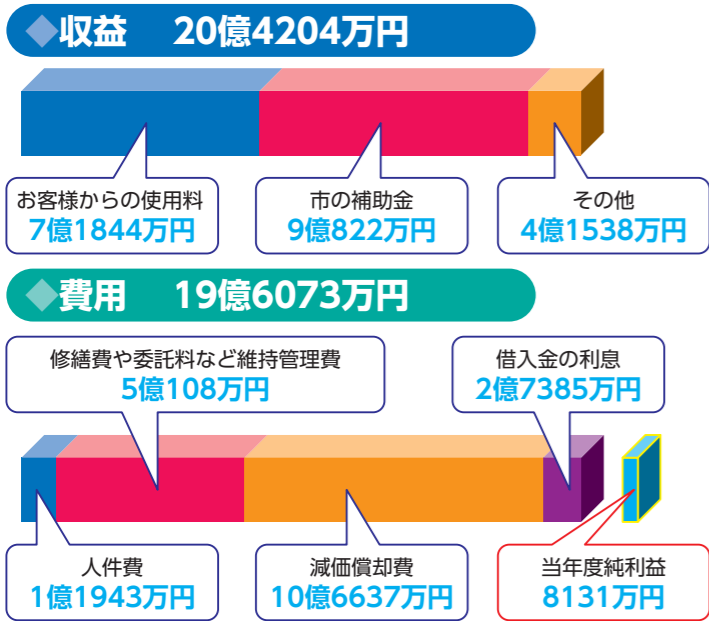
⇒ 水道施設をつくるためにかけたお金とその財源



## 令和元年度 下水道事業会計決算の状況

### 1. 収益的収支決算額（税抜）

⇒ 汚水をきれいにするためにかけたお金とその財源

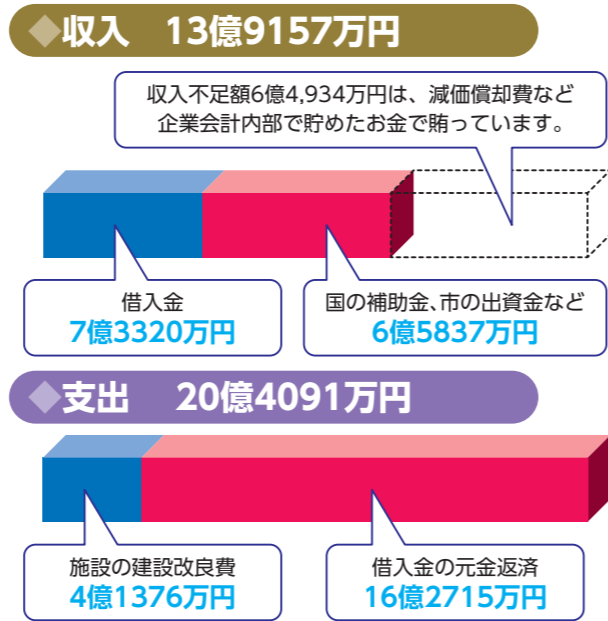


#### 経営状況

公共下水道と集落排水を合わせ、令和元年度の収益的収支は、総収益が20億4,204万円で、総費用は19億6,073万円で、8,131万円の当年度純利益(黒字)となりました。

### 2. 資本的収支決算額（税込）

⇒ 下水道施設をつくるためにかけたお金とその財源



## 下水道への接続のお願い

### 下水道へ接続するには、どうしたらいいの？

下水道または集落排水施設へ接続するためには、市の指定を受けた工事店に依頼し排水設備工事を行ってください（お申込みください）。排水設備指定工事店がわからないときは、下水道課へお問い合わせください。また、市のホームページ（ページ番号000002070）から指定工事店の一覧がご覧いただけます。

横手市 排水設備指定工事店



### 融資あっせん制度があります

下水道または集落排水施設へ接続する際の工事資金を金融機関から借りた場合に、借入に伴う利子を市が負担します。

- ◆ **融資の対象** 水洗トイレへの改造や、浄化槽を廃止して下水道に接続する工事
- ◆ **融資金額** 供用開始から3年以内なら120万円以内  
供用開始から3年経過した場合80万円以内

※制度を利用する場合、あっせんの条件や利用の制限がありますので、指定工事店または下水道課へお問い合わせください。

詳しくは下記までお問合せください

**横手市下水道課**  
☎0182-35-2253

## 水道 老朽管が増えています

水道管路は、法定耐用年数が40年\*です。全国的なことですが、高度経済成長期に整備された管路が多く更新がなかなか進んでいません。

1年当たりの更新率0.7%から単純に計算すると、横手市のすべての管路を更新するのに約140年かかると想定されます。

人口減や節水による水需要の減少により、財源が苦しくなっています。今後も、限られた財源の中で老朽管の更新を行っていく必要があります。

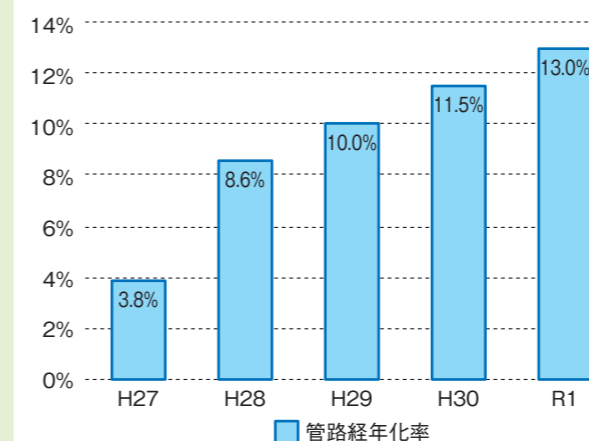
### 管路経年化率 (%)

$$\frac{\text{法定耐用年数を超えた管路延長}}{\text{管路総延長}} \times 100$$

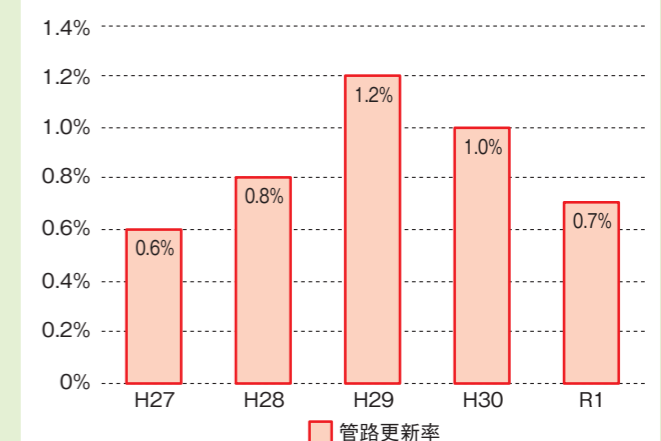
### 管路更新率 (%)

$$\frac{\text{更新された管路延長}}{\text{管路総延長}} \times 100$$

年々経年化率が上昇  
老朽化が進行



管路総延長に比べて  
更新が進んでいない



\*平成9年度より基幹管路等を更新する場合には耐用年数が2倍以上といわれている管を採用しています。